

施策番号 1-2	施 策 名 雇用促進プロジェクト	基本的方向 誰もが希望する働き方でいきいきと輝けるまちをつくる
		基本目標 安定した産業と雇用を創出し、誰もが活躍できる社会づくり
主管課 施策関係課	商工労政課 健康福祉課	課長名 仲野 裕司 内 線 247

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが希望する働き方を実現し、いきいきと輝いて暮らせる取組を進める		町民		・起業者や多様な働き方を実現する ・町内企業の経営安定化と、障がい者の自立を進める			・誰もが活躍できる社会になる ・住み慣れた地域で安心して住み続けられる	
重要業績評価指標(KPI)	説明	単位	策定時(基準値)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2024年度(目標)	
① 町の支援により起業した人 数	実績数(R2～R6 累計)	人	3	2	2	3	10	
② 就労支援事業所から一般就 労した方の人数	実績数(R2～R6 累計)	人	8	1	4	6	12	
③								
評価指標 設定の考え方	①起業を希望する方を対象にしたセミナーなどを通じて起業者を増やす。 ②誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現のため、障がい者の自立支援と社会参加の促進を目指し、第5期総合計画の成果指標と同様としている。							

2. 施策の事業費

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費 (千円)	6,254	13,291	12,493
人工数(業務量)	0.0109	1.2364	0.5470

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2022年度 の成果評価 (前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定され る理由	○起業セミナー等を通じた2022年度の起業事例は1件あった。 ○企業との橋渡しなどの「就労支援」を通じて、トライアル雇用から一般就労に繋がっている。
②2024年度 の目標値達成 見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成で きる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難 しいが、現行事業の見直しや新規事業 の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施を しても目標達成は難しい	根拠 (理由)	○2023年度から「元気な商店街づくり支援事業」において「起業支援補助金」制度を創設したことを追い風として、セミナーによるソフト支援からハード支援まで一貫した支援体制を構築することで、町内における起業・創業事例の増加が期待できる。 ○働く障がい者の通勤サポートの認知度向上に伴い利用者は着実に増加している。
(2) 施策の成果評価に対する第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業の総括			
①施策の成果向 上に対して貢献度 が高かった事務 事業	起業・創業支援事業 障害者就労支援事業	②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業	
③事務事業全 体の振り返り(総括)	○起業セミナーにおいては、2022年度から性別や年代を問わず起業したい方の希望をかなえることを目的に性別を限定せずに参加者を募集した結果、47名(前年度比3.6倍)の参加があった。 ○町内企業訪問を通じて、障がい者雇用に関する企業側のニーズ把握を行ない、障がい者の雇用促進につなげるべく担当課連携を継続した。 ○芽室町ハローワークと連携して障がい者就労を希望する企業に職場実習生を見学や体験を実施しているが継続した取組みまで至らなかった。 ○働く障がい者の一般就労の促進と定着支援の課題解決の一助として、2022年4月からNPO法人に委託している。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(総合戦略策定時との比較)

担当課評価	○セミナー受講者から新たな起業事例が生まれた。 ○障がい者雇用については、芽室町ハローワークと連携して障がい者就労を希望する企業に職場実習生を見学や体験を実施したことは一般就労へ後押しする成果と言える。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した
D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	○起業セミナーの対象者を拡大により大きく参加者が増加したことから、性別・年代問わず一定の起業志向があるものと推察される。今後は、起業後の経営安定化・定着を促す支援策も必要である ○企業の障がい者雇用に対するニーズは高く、引き続き雇用までのプロセスや手法の明確化など適切なサポートを施すことで、障がい者雇用が進めていくことが必要と考えられる。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	○障がい者の就労機会の確保と自立促進・支援 ○労働力不足対策の推進

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

○起業・創業支援では、セミナー(基礎学習と仲間づくりの場の提供)に加え、個別相談(継続したフォローアップ)の回数増加、交流会(コミュニティの醸成)の実施によって、起業希望者や起業者が、個々の段階(状況)に応じた相談・助け合いができる環境を構築していく。 ○企業への戸別訪問に併せ、一般就労先企業を掘り起こしと、必要に応じてサポートする関係課連携体制を継続する。 ○障がい者の通勤サポートについては、ルートや料金設定など持続可能な事業となるよう委託先と連携していく。 ○地域おこし協力隊と連携して、生活課題を抱えながら福祉の支援を受けていない方に情報を届け、公的支援を通して生活課題を解決する取組(アウトリーチ活動)を推進していく。
--

6. 経営戦略会議(府内評価)

評価	担当課評価同様に「前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	府内評価同様に「前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した					